

<b>クラス NO</b>	502	<b>担当教員</b>	上山 仁恵
<b>テーマ</b>	日本人の資産運用を考える		
<b>著書・論文</b>	「住宅購入を考慮した家計の資産選択」、『金融経済研究』、第 22 号、pp.77-94、2005 年。 「家計の資産選択における実物資産の位置付け」、『金融経済研究』、第 26 号、pp.41-62、2008 年。		
<b>研究課題等</b>	担当者の研究課題「中古住宅市場と家計の資産選択」		

<b>ゼミ概要</b>
<p>1. 内容・ゼミの進め方</p> <p>みなさんは、貯めたお金を預貯金に預けるか、それとも株式や投資信託などのリスク資産に投資するか、悩んだことはありますか？</p> <p>もちろん、生涯、株式や投資信託などのリスク資産には投資せず、預貯金のみで資産運用するという選択もあります。ですが、預貯金のみで運用した場合、預貯金の収益率は株式や投資信託等のリスク資産の収益率と比べて低くなる可能性が高い分、生涯に使える資金は少なくなってしまう可能性もあります。</p> <p>みなさんは、これから旅行もしたい、車も欲しい、結婚したら家が欲しい、子供ができたなら習い事をさせたいなど、いろいろなライフデザインを描いていると思います。みなさんのライフデザインを実現するためには、どうしてもお金が必要ですね。つまり、「ライフプランニング（生活設計計画）」をすることが必要です。</p> <p>このゼミでは、まず、専門演習Ⅰで、資産運用に必要な経済・金融・資産運用に関する諸制度の基礎知識を学びます。そして、専門演習Ⅱでは、資産運用の基礎知識をベースに、日本人の資産運用の傾向を調べたり、国際比較を行ったりと、マクロ的な視野で日本人の資産運用の特徴を調べ、専門演習Ⅲ・卒業論文につなげていきます。</p> <p>2. 受入条件</p> <p>興味がある人は、上山までメールを下さい。</p> <p>連絡先：ueyama@n-fukushi.ac.jp</p> <p>メールの書き方、及び、面接（資産運用についてどれぐらい考えているのか）で受入条件を決定します。</p>

<b>履修上の注意</b>
ある程度の数学の知識（四則演算と指数・平方根の計算）と情報処理技能（インターネット・エクセル）を前提とします。

<b>担当教員からのメッセージ</b>
このゼミは、金儲けをするためのゼミではありません。